



Pick Up News 11月に台湾・台北に出張しました。台湾にはビザいらず、仙台空港から直行便で行けるので、物理的にも心理的にも近い国です。今回は、台湾の衛生福利部（医療福祉の管轄省）と内政部（建築の管轄省）で講演をするためでした。台湾も急速な高齢化とその対応のための社会・環境づくりに大きな力を注いでいます。日本の経験が参考になるのであれば嬉しい限りです。2018年以來、5年ぶりの台湾訪問でしたが、ビックリするくらい物価があがっていました。かつては、日本の1/2~1/3くらいの物価感覚でしたが、もはや日本と変わりません。円安もあり、日本との差はなくなっています。残念ながらこの30年間、日本の国力は上がっていません。近隣の国々は大きな成長をしていますので、相対的に日本だけが取り残されている状況です。国内にいれば何も感じることはないのですが、海外に出るとその事実に向き合うこととなります。ますます海外に出ることが難しくなる状況です。そのような中で、昨年はスイスの設計事務所にインターンシップ、今年は台湾中原大学およびフィンランドのアルト大学に留学している学生が本学科にしていることは心強く、大変喜ばしいことでもあります。さて、来年2月のイベントの詳細が固まりつつあります。世界的巨匠お二人が登場する貴重な機会。お楽しみに。

**【特報】東北工業大学建築学部完成記念イベント
伊東豊雄先生+妹島和世先生 W講演会 開催決定
2024年2月17日(土)@仙台国際センター**

2020年4月、全国6番目の建築学部として本学建築学部はスタートしました。当初、2020年3月に開設記念イベントを企画していましたが、COVID-19の影響で延期を余儀なくされ、現在に至っています。おかげさまで建築学部は4年目、完成年度を迎えました。4年間、定員を上回る志願者と入学者を確保することができました。そして、2024年春には建築学部最初の卒業生を輩出することになります。今回、建築学部設置及びその完成の報告会を開催するとともに、記念の講演会を企画しました。コロナ禍で思うような大学生活が送れなかった在学学生も多くいます。建築学部1期生として入学した4年生以下の在学学生全員に対して、本学で学んでくれていることに感謝をし、またここで学んでいることに対して、あらためて誇りと自信を持ってもらい、さらなる活躍を期待する場となるよう、本学部全学生の全員参加での学部行事といたします。また、建築学科同窓生、お世話になっている企業等関係者、さらには一般の皆様に対して、本学建築学部設置の意義と4年間の歩み、さらには今後目指すべく姿を共有し、さらなる発展と、学術及び地域・社会への貢献をお約束する場といたします。

建築学科の学部生・大学院生全員参加を基本とするイベントとなります。春休みに入るところでもありますが、予定を空けておいて下さい。

卒業設計の中間発表の実施



IUW2023七ヶ浜プロジェクトのシンポジウムに参加

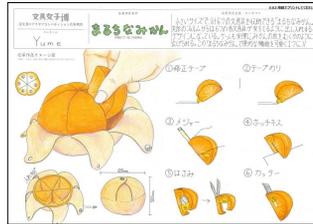
IUW2023「TOHOKU（東北）復興～建築と記憶」一番町ロビーで展示

11月18日、せんだいメディアテーク1階オープンスクエアにて、IUW2023七ヶ浜プロジェクトTOHOKU（東北）復興 建築と記憶のシンポジウムが開催されました。関東8大学と宮城学院女子大学とともに、東北工業大学の錦織研究室・齋藤研究室の田中堅太郎さん、永達輝斗さん、山内悠一斗さんが、七ヶ浜町で行ってきたリサーチと設計を発表しました。東北工業大学の提案は、「活動を拓くー公共建築群の再構築を考える」というテーマで、七ヶ浜の公共建築を縮小・再構成して新たな動線を設け、人々の交流を促す場を設計しています。後半は、七ヶ浜町からのゲスト、地元の建築家、各大学の教員が参加してシンポジウムが行われました。シンポジウム後の懇親会は、4月から取り組んできた本プロジェクトや東日本震災での経験を振り返りつつ、教員や学生が交流する機会となりました。11月24日から28日まで、東北工業大学一番町ロビーでも「IUW2023七ヶ浜プロジェクト」の展示が開催されました。



鈴木優芽さん（4年：現在留学中）「文具女子博文具のアイデアコンペティション」大賞受賞

来場者・出店各社から圧倒的な支持。「果皮に包まれた分割されたパーツ」を、「複数のミニ文具を一つにまとめて携行できる」という機能と結びつけたところが秀逸 との審査評。



Pick Up Lab. 堀研究室では、地震に対して「強い」建物の研究をしています。卒業論文も追い込みの時期となり、構造系の4研究室では11月14日に中間審査会を開催しましたが、この準備も兼ねて、当研究室では10月31日に研究報告会を行いました。これは、4年生に卒論に関する検討状況や内容説明をプレゼンしてもらうもので、発表やスライド作成に慣れること、論文構成を再検討すること、他学生の発表を聴講して参考にすること、新たに研究室配属となった3年生に研究紹介をすること、などが目的です。次回は12月19日の予定で、練習を重ねて、緊張せずに良い最終発表ができることを期待します。



研究報告会の様子



研究室歴代の卒論ファイルと梗概集



4年 青木 優奈さん
多賀城高校 出身

Pick Up Student 今年で4年生となり、大学で過ごす最後の1年となります。現在、論文の作成や、建築士の資格取得のための勉強をしております。今年、8月の下旬に国際交流に参加させていただいた際は、タイ語や文化の勉強など、貴重な体験をさせていただきました。就職に関しては研究室の先生に、OBの方の就職先を紹介していただくなど様々なサポートを頂き、無事、内定を頂くことができました。講義に関しては、分からないところが出てくるとテスト前に先生に聞きに行っており、分かるようになるまで問題を繰り返し解くことを心がけておりました。大学生活は私たちにとってかけがえのないものになりますので、学生の時にしかやれないことを思いっきりやってほしいと思います。



2年 赤坂 彪真さん
福島工業高校 出身

Pick Up Student 私がこの大学に入学し、一年半ほど経ちました。この大学で学べる事はたくさんあり、日々精進していると思います。しかし、あまり成長できていないと感じることもあります。それは表現力です。私は工業高校出身でプレゼンボードの作り方やパースの描き方など、高校での経験を活かしているとは思いますが、あまり成長を感じられません。今後は建築をどう見たら、どのように感じられるか、それをどう表現すれば自分が伝えたいことが伝えられるかなどを理解する必要があります。そのために、建築物の見方を変えたり、レンダリングソフトを活用したり、色々な事に挑戦したいと考えています。これからさらに成長できるように頑張りたいと思います。